

事務事業調査 平成23年度	No	592	課名	下水道管理課	起案者	横山大助
	係名	排水設備係	決裁者	神谷敬信		
事業種別	施設整備	区分	継続	業務一覧No	2, 3, 7	
事務事業名	排水設備確認事業			他係名		
				他係業務一覧No		

1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 3 水循環 2 水質浄化 1 下水道 2 接続促進			予算科目(会計)		下水道事業特別会計	
				予算科目(款・項・目)		5-10-5	
				総合計画以外の計画		安城市環境基本計画	
				関連する総合計画の施策			
性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの（選択的事業）			法定受託事務	無		
根拠法令	有	下水道法第10条（排水設備の設置等）					
実施方法	一部委託	委託先	民間企業				
実施期間	開始	平成05年度	経過	18年目	終了		期間
公約・議会答弁	無						
陳情・市民要望	無						

2 事務事業の概要

求める成果	誰(受益者)が	下水道に接続を希望する市民が	～になる	接続することにより、良好な環境の中で生活できるようになる。
事務事業の内容	地域に下水道が整備されても、生活排水等を公共下水道に流入させる排水設備が完備されなければ、下水道の役割が果たせられず、公共下水道と一体的に迅速かつ的確に整備するため、排水設備の工事内容について、事前に法令等に適合しているかどうか確認し、公共ます等の設置工事を排水設備指定工事に依頼して下水道本管への接続を行います。また、接続後に計画どおり施工され、雨水等の誤接続が無いかどうか検査を行います。			
事務事業進捗状況	公共下水道の排水設備検査件数(新設、増設及び改築) 平成22年度1,714件・平成21年度1,454件・平成20年度1,559件・平成19年度1,419件・平成18年度1,533件 平成10年度より単価契約により公共ます等の工事発注・平成16年度より排水設備システムの導入			
改善・対策の履歴	なし			
環境配慮の視点	環境目標○ー基本的施策○ー具体的施策○ 06 水資源の保全及び河川・湖沼の水質浄化 03 河川浄化施設の整備等の推進 01 公共下水道の普及率向上及び接続促進			

3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度
	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)
総事業費 f=a+d+e	215,385	184,922	171,956	179,155	207,949	206,794	206,794
財源計 a	183,759	153,221	140,330	147,529	176,323	175,168	175,168
コスト 財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他()	183,759	153,221	140,330	147,529	176,323	175,168
	一般財源	0	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0	0	0
職員人件費 d	31,626	31,701	31,626	31,626	31,626	31,626	31,626
内訳 従事職員数	4.20	4.21	4.20	4.20	4.20	4.20	4.20
人事課予算分人件費 e	0	0	0	0	0	0	0

4 求める成果を得るための活動				年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動	活動①	活動名(活動内容)	公共ます等設置工事の発注及び検査	見込(単位)	1,200.00	1,553.00	1,582.00	0.00
				実績b(単位)	1,426.00	1,334.00	0.00	
		指標名(単位)	工事費支払い件数(件)	活動の総事業費f 実績	163,763	158,071	0	
				単位コストg=f÷b 実績	114.84	118.49	0.00	
	活動②	活動名(活動内容)	排水設備等確認申請事務	見込(単位)	1,200.00	1,553.00	1,582.00	1,714.00
				実績b(単位)	1,559.00	1,454.00	1,714.00	
		指標名(単位)	全検査件数(件)	活動の総事業費f 実績	10,542	10,542	222,879	
				単位コストg=f÷b 実績	6.76	7.25	130.03	
	活動③	活動名(活動内容)	排水設備等確認申請書の審査	見込(単位)	1,200.00	1,553.00	1,582.00	0.00
				実績b(単位)	1,389.00	1,366.00	0.00	
		指標名(単位)	申請件数(件)	活動の総事業費f 実績	10,542	10,542	0	
				単位コストg=f÷b 実績	7.59	7.72	0.00	

5(1) 成果の目標と実績

成果	成果1	指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
		公共下水道の下水道水洗化人口(人)	見込(単位)	100,000.00	103,000.00	110,000.00	113,000.00
			実績(単位)	101,305.00	105,679.00	110,983.00	
			達成状況	達成	達成	達成	
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度			
	成果2	指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
		油ヶ淵流域の下水道水洗化人口(人)	見込(単位)	28,000.00	30,000.00	32,000.00	33,000.00
			実績(単位)	28,865.00	30,727.00	32,052.00	
			達成状況	達成	達成	達成	
		目標成果指標値	32,000.00	目標達成年度		平成22年度	

5(2) 成果1、2以外の成果

成果	市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入	
	①悪臭などのない清潔で快適な暮らしの実現ができました。 ②河川・湖沼の水質が改善されました。 ③浄化槽(ブロワーポンプ)廃止による消費電力の削減ができました。	

6 単位コストと成果の分析

分析	項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
	単位コスト	施主が管理する排水設備と市が管理する公共ます及び取付管の工事の各申請に基づき、内容の審査、工事の発注、工事の完了検査を実施しました。
	成果1,2	排水設備等確認申請及び公共ます設置申請書に基づき、宅内から下水道への接続工事が完了し、下水道を利用する人口が増えました。また、アパート・マンション等の新築共同住宅の増加により、接続人口が増えました。

7 所属長の改善案

改善	コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する	
	排水設備等確認申請書の受付から、確認通知までの書類審査等の事務処理を迅速に実施します。指定工事店に対し、排水設備工事施工上の知識・技術のより一層の向上に努めるよう指導します。	

8 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
維持・継続	排水設備等工事は、法令等に適合するよう施行しなければならないため、引き続き指定工事店への指導を実施します。